

コンピュータ沖繩



名護 社長

コンピュータ沖繩は、本所部門で最優秀賞を受賞するホームページ（HP）やメールマガジン（MM）など様々も先進的にHPでの情報公開や情報発信を続ける同社。名護宏雄社長は「継続することこそ信頼性の向上につながる」と効果を語る。

HP、メルマガで情報発信

13年11月6-7日に沖繩県浦添市で開催した「ITフェア2013」は前年比2社多い27社の出展で902人が来場した。HPやM

M経由での来場者も多く、「県内有数のITイベント」として定着してきている」と継続の効果を語る。同社HPへの訪問数、ユニークユーザー数、ページビュー数、サイト滞在時

管理システムは積極的な拡張を推進している。顧客との接点強化を目的に、10年4月から配信開始したMMの登録件数は1500件を超えた。登録者の人事異動などで増減はあるものの増加傾向を継続。スマホやタブレットの普及で、メールを見られる環境が変化しているため、企業や自治体だけを対象にしていた配信先を13年11月から個人にも広げた。3月末ま

12年度のユニークユーザーは前年比16・6%増の1万5783人。新規訪問数は同4・7%増の39・2%を占める。同業他社へ手の内を見せることにもなりうるが「先行者メリットは十分にある。何よりのHPを充実する。企業が1社でも増えてはし

13年1月に社内立ち上げた「タブレット研究会」は「様々な事例が出てきている」という。13年度は「1-2台程度の試験導入が多かったが、14年度は導入が加速する」とみる。

で2千件を目指す。HPやMMは同業他社も強化しているが、名護社長は「1千人を超えるお客さまに（MMを）直接発信できるのは大きな武器だ。郵便物だと届かない個人にまで届かない可能性もあるし、読んだとしても捨てられる」と語り、これからも業界をリードしていく考え

「ソーシャルツールを組み込んだオープンなクラウドシステムを検討しており、スマートフォンやタブレットなどとも連携させる方針だ。」